



北っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ
家庭・地域に帰します！

◇教育目標：人・社会・未来へつなぐ Well-being

◇重点目標：学ぶ楽しさを見つけ、よりよい考えを表現できる子の育成

朝の読書運動（朝読書）

校長 大野 昌 広

「学校で『なぜ本を読むのか』のサポートが必要、子どもが本嫌いになる3大理由～いかに本を自分の武器として使うかを学ぶべき」（令和4年4月 東洋経済education×ICT編集部）という雑誌に元カリスマ書店員の田口幹人さんのインタビュー記事が掲載されていました。田口さんは約20年前から子どもたちに「なぜ、本が嫌いなのか」というアンケートを行っています。本が嫌いになった理由は次のとおりだそうです。

- 1位 なぜ本を読まないといけないかを教えてもらったことがない
- 2位 読みたくない本を読まされた
- 3位 音読で恥をかいだ

本校は、昨年10月に日課表の変更を行いました。それ以前は、①通常日課、②水曜日課、③特別日課の3種類が存在し、学校行事や先生方の会議などの関係で使い分けていました。参観日の時間や先生方の会議時間等を生み出すには大変都合のよいものでしたが、反面、何度も給食時間や下校時間が変更になり、落ち着いた学校生活を送る、という点で課題がありました。現在、本校はたった1つの日課表です。この日課表を導入する際に月曜日から金曜日まで毎朝10分間の朝の読書運動の時間を設けました。令和7年度もこの朝の読書運動を継続しています。4月から約3ヶ月半が過ぎ、子どもたちのなかに定着し、登校後すぐに読みはじめる児童、休み時間も本を読む児童がみられるようになりました。一方で、遅刻して取組が遅れる児童、なかなか本に興味をもてずにいる児童もいます。

朝の読書運動は、主に小中学校において、読書を習慣づける目的で始業時間前に読書の時間を設ける運動のことを言い、朝の読書運動を略して、「あさどく」「朝読書」と呼ばれています。その歴史は古く、日本全国の一部の学校や学級担任レベルで1970年代から各地で行われていました。1988年の船橋学園女子高校（現：東葉高等学校）の先生方の提唱・活動をきっかけに日本全国に広まりました。朝の読書運動には、下記の4つの原則があります。

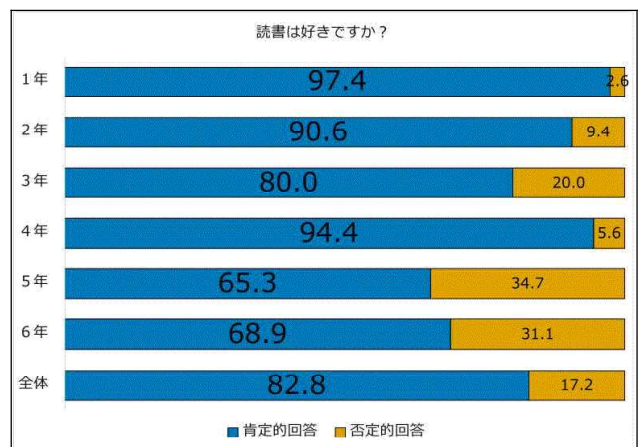
- 1 みんなでやる……子どもと教師全員が同じ時間に同じ条件で取り組む公平さが基本
- 2 毎日やる……1日10分という短い時間でも、毎日行うことで子どもたちの読む力を育む
- 3 好きな本でよい……読む本を子ども自身に選ばせることは自分発見につながり主体性を育む
- 4 ただ読むだけ……感想文や記録は求めない。本を読んでいるときの楽しく充実した思いを大切にする

5月上旬に行った「学習・生活アンケート」では、学校全体として8割を超える子どもたちが「読書が好き」と回答。一方で高学年（5～6年）については約3割の子どもたちが「読書は好きではない」と回答しています。一見、朝読書に取り組んでいるものの、「やらされている感」があるのでしょうか。本校の課題です。

平成13年12月12日に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されました。「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動ができるよう、積極的に環境整備を推進する」が基本理念。この法律により国、地方公共団体は「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定・公表しなければなりません。旭川市においては令和3年3月「ななかまど読書プラン第4次旭川市子ども読書活動推進計画」が策定・公表されました。読書活動の推進は、学校教育の役割の大きな柱のひとつになっています。

元カリスマ書店員の田口さんは「読書は人づくりです、読書がいかに人生に役立つのか。その魅力をこれからも子どもたちに伝えていきたい」とインタビューに答えています。私たち教職員も、本を通じてこころを耕し鍛える子どもも育成を目指し、朝読書を含めた読書活動を進め、本の魅力を伝えていきたいと考えています。旭川市の「ななかまど読書プラン」の表紙をめくと次のことが綴られています。

子どもの時に読んだたくさんの本の思い出は、その子が大人になっても心のどこかで温められ、人生のなかでいつかきっと「ななかまど」のようにたくさんの美しい実をつけることでしょう。



4年生 水防学習会

7月1日(火)の2～4校時に、本校で旭川河川事務所による石狩川上流水防学習会を行いました。

4年生の社会科の学習の一環で、水害の危険性等を学ぶ講話や降雨装置を使った豪雨体験などを体験しました。児童たちは、水害時の身の守り方や災害時の行動などを学び、災害に対する意識を高めることができました。



ふれあい集会開催

7月8日(火)に「ふれあい集会」を行いました。「ふれあい集会」では、6年生が1～5年生のために9つのゲームを企画・運営しました。とても楽しい集会となりました。



Happy やたい!



生き残れ! 新聞島ゲーム



じゃんけん王はだれだ!



聞いて答えて、わくわくクイズ!



ビンゴゲーム



にぎにぎおにぎり



ジェスチャーGo!



目指せ! イントロマスター!



言うこと一緒、やること逆

児童生徒性暴力等の防止に対する取組について

先日、道外の複数の教員が女子児童を盗撮し、画像などをSNS上のグループで共有したとして逮捕される事件がありました。当該行為は、児童生徒の尊厳と権利を著しく侵害し、児童生徒に生涯にわたって回復しがたい心理的外傷や、心身に対する重大な影響を与えるものであり、決して許されるものではありません。

本校においても、文部科学省、北海道教育委員会及び旭川市教育委員会の指示のもと、管理職中心にトイレや各教室などの校舎内の緊急点検を行いました。点検の結果、異常は見当たりませんでした。また、教職員対象の研修をおこなうとともに、児童生徒性暴力等の学校内の相談窓口として、管理職及び養護教諭が窓口になることとしました。ご相談がありましたら、管理職または養護教諭まで連絡をお願いします。

最後になりますが、学校以外の相談窓口一覧文書を再配布させていただきましたので、各家庭での確認をお願いします。